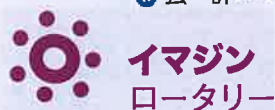


THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary 

# 鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝  
● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



イマジン  
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail [kitarc@infosakyu.ne.jp](mailto:kitarc@infosakyu.ne.jp) <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会

2023年4月25日(火) 四つのテスト 第2981回

- ◆ ロータリーソング ◆ 卓話  
 それでこそロータリー 株式会社 アクシス  
 ◆ 献立 洋食 相談役 坂本 直 氏  
 ◆ 委員会事項 ※ 例会終了後、次年度理事会  
 入会記念日御祝 「例会場」・5/2 休会

次回の例会

2023年5月9日(火) 四つのテスト 第2982回

- ◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 会員卓話  
 ◆ 献立 米山ミール 水野治郎さん  
 ◆ 委員会事項  
 誕生日御祝

## 先週の例会

2023年4月18日(火)

### 会長挨拶

4月9日に倉吉の未来中心で行われた第1・第2グループの合同IMに行ってきた。IMというのはインターシティミーティングの略で、都市間のロータリアンが一同に会し、ロータリー情報を学び、親睦も図る会合の事です。昨年・一昨年とコロナ感染拡大防止の観点からオンラインでの開催となった合同IMでしたが、今年は未来中心で一堂に会し、基調講演、記念講演が行われ、その後倉吉シティホテルに場所を移動して賑やかな懇親会も行われ、正直言って思ったより楽しい会合になりました。本来なら若手会員には全員参加して頂きたかったのですが、それを誰が指導するのかという事ははっきりと決めていませんでした。またひとつ課題が見つかり次年度に引き継ぎたいと思います。

個人個人の善意の上に成り立っているロータリーの活動ですので、あまり細かい事は言いたくないの

ですが、皆が心地よく活動出来るようルールは作っておかなければいけないと思います。社会に貢献するような社会奉仕活動は目的も責任者も世話係もハッキリしていますが、クラブや会員に対するクラブ奉仕に関してはまだまだ詰めていくところが多いかと感じています。例会中にアクシデントが起こった場合、誰がどう例会を仕切るのか、地区大会や合同IMといった活動への参加をクラブとしてどう考えるのか、例会への出席がままならない会員に対するケアを誰がどうするのかなど、課題は沢山あります。

本日の夜、次年度の入江会長の呼びかけでパスト会長会が行われます。とても良い企画だと思います。これは正に次年度会長・幹事の為のIDMにあたるものだと思います。各委員会同様、会長・幹事もIDMを行う事により、様々な課題に取り組んで頂ける事に期待したいと思います。

以上本日の会長挨拶とさせていただきます。

### 幹事報告

#### 1 到着文書

- 倉吉東ロータリークラブより  
合同インターシティミーティング (IM) 参加のお礼
- 益田ロータリークラブより  
事務局退職につき、サウンド・パレットに業務委託した件

#### 2 例会変更・メーカー情報

なし

#### 3 その他連絡事項

- クラブ運営計画書原稿のお願い
- 4/20 (木) 事務局 合同IM代休

### 委員会事項

#### ◎出席率報告

4月18日 会員47名中 出席38名 (zoomなし) 80.85%

#### メーカーアップ

- 4月9日 合同IM 全員登録 (氏名省略)

- 4月16日 鳥取砂丘一斉清掃 田中和夫さん 塚田隆さん 中尾仁徳さん 松永宏之さん 本家勇子さん 森下泰年さん 結城崇彰さん
- 4月16日 地区研修・協議会 入江容子さん 田村博信さん 千金周一さん 寺本光孝さん 福田収さん 松原雄平さん
- 4月17日 次年度クラブ運営・親睦IDM (8名)

#### \*スマイル報告

(本日8,000円 累計 407,800円 前回399,800円)  
 千金周一さん 砂丘清掃へ参加の方、お疲れ様でした。私もローターアクトと交流したかったです。  
 入江容子さん 地区研修・協議会へ参加の皆様、お疲れ様でした。  
 寺本光孝さん ロータリー事が多くなって来ました。皆様、頑張って行きましょう!!  
 水野治郎さん 大変忙しい毎日。しかし週一の筋トレと我が家の周りのごみ拾いは継続中。先日は元会員の斎藤さんと再び新橋で旧交を温めました。人の喜ぶ顔を見るのは幸せなことです。

森下泰年さん 先日の春の鳥取砂丘一斉清掃に参加された皆さんお疲れ様でした。会員7名とロータリーアクト候補8名で合計15名と多くの参加を頂き、楽しく気持ちのいい汗を流すことができました。ありがとうございました。

早退 1件

※2大御祝(本日0円 累計118,000円 前回118,000円)

卓話

「合同IMの報告」 田中和夫さん

4月9日の日曜日に倉吉未来中心大ホールで、国際ロータリー第2690地区第1・第2グループ合同IMが開催されました。当クラブから14名で参加しました。新型コロナウイルス感染拡大後では、久しぶりのコロナ感染拡大前と変わらない、懇親会のある合同IMの開催となりました。

基調講演として鳥取県副知事、亀井一賀様から「次代の青少年像」と題して、鳥取県の人口減少を止めるため、移住定住や鳥取県の未来の担う次世代層の育成に向けた様々な取り組みについてご講演がありました。

続いて、記念講演として株式会社鈴廣かまほ本店取締役相談役、小田原北ロータリークラブの鈴木悌介様に「エネルギーから経済を考えるー未来へつなく地域のために」と題して講演がありました。鈴木様は「一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」の代表理事も務められておられます。鈴木様はゼロ・エネルギーを目指した本社ビルの建築をはじめ、グループ5社の電力を地元の再エネ利用の新電力に切り替え、地域での再生可能エネルギーの自給体制の実現を通じて、持続可能な地域経済と地域社会の自立を目指し、徹底して地域に貢献しておられました。

明るいついででの懇親会が場所を倉吉シティホテルへと移動して行われました。結構狭い部屋での懇親会で、本当にコロナ感染拡大以前の合同IMに戻ったようでした。

「合同IMの報告」 塚田 隆さん

1、基調講演「次代の青少年像」<sup>かずよし</sup>  
鳥取県副知事 亀井一賀 氏

【鳥取県の人口減少対策】

1) 地域資源を活性化

・地域の資源を活用し、新たな産業を育成し、雇用の創出を図る

2) 若者の人口流出を防ぐために

○若者が働きやすい環境の整備

若者が転職しやすく、働きやすい環境を整備することが重要です。

具体的には、生活環境の整備や就職情報の提供、交通アクセスの改善、公共施設の充実などが挙げられます。

○若者の創業支援の強化

若者が自分のビジネスを起業する場合、金融面やマーケティング面で支援が必要となります。

○地域と若者をつなぐイベントの開催

地元のイベントや祭りなどを開催することで、若者が地域とのつながりを深めることが可能です。そのため、地域住民が協力して、地域の特徴や魅力を発信する環境を整えることが必要です。

○教育環境の充実

大学や専門学校の設置に加え、地元働き手が定着しやすい職場の設置も重要です。そのためには、地元企業との協力、産学連携などが必要で、働く意欲がある若者が留まりやすくなるでしょう。

以上のような策を複合的に取り入れ、若者の地元



に定着を促すことが、人口流出を防止する上で重要です。

3) 上記の対策の成果

令和3年度の鳥取県への年間移住者は1665世帯2,368人となり過去最多

2、記念講演「エネルギーから経済を考えるー未来へつなく地域のために」

(株)鈴廣蒲鉾本店 取締役相談役

小田原北RC

小田原箱根商工会議所会頭 鈴木悌介 氏

【地域で廻るお金を増やし、その廻るスピードを上げる】

経済全体を見廻せば、国の積極的な財政出動、さらにはコロナ関連の支援金の拠出によって、市中に出回っているお金の総量、いわゆるマネーストックは増え続けるのに、なぜか多くの企業はお金がなくて困っている。さらに社会の経済的格差は広がるばかりです。つまり、資金がどこかに滞留してしまい必要などころに回っていかないということ。

一部大企業の内部留保と海外への流出は増え続けています。経済の実態とはかけ離れたところで株価は上がり、海外の不動産投資が増えるのは、行き場のない資金がより利を生むであろうと人々が考えるところへ集まっているということでしょう。ですから、中小企業が元気になるためには、そして経済の力で地域を元気に持続可能にしていくためには、地域に人とお金を呼び込み、地域で廻るお金を増やし、その廻るスピードを上げることが今まで以上に必要なのだと思います。

そのためには、エネルギーを賢く使いながら、地域資源を活かした再生可能エネルギーの地産地消を進め、地域で廻るお金を増やし、地域の課題解決を図ることが重要です。

「地区研修・協議会の報告」次期会長 入江容子さん

4月16日(日)、松江くびきメッセにて地区研修・協議会が行われ参加いたしました。東部各クラブの次期会長・幹事・各奉仕委員長と和気あいあい楽しく参加致しました。

最初に全体会で、地区ガバナーエレクトの石倉貞昭氏より2023-24年度の国際協議会の報告がありました。次年度のRIテーマは「世界に希望を生みだそう」です。これを受けて地区では「希望の種をまきましよう、育てましよう」と云うことでした。

部門別協議会では、新会員の研修についてを中心に話し合いが行われました。

ロータリーの基本はクラブ奉仕です。クラブ奉仕を充実し、クラブ活性化、ロータリーの魅力をどんどん伝え学んでいくようにし、それによって会員増強や退会防止に努めてほしい。

この度、各クラブにアンケートをお願いしその中から数十クラブの取り組みの発表がありました。その発表取り組みから、

・色々な同好会を開催して魅力を感じてもらう

・交流会を盛んに行う

・5年未満会員とパスト会長、ベテランの会員とのセミナーを行い、その後懇親会を行うことが大切

新会員へロータリーとは説明を一つずつ行い理解してもらおう等々の意見が出ました。

最後に、ロータリーの返事は「はい」、「よろこんで」、「承知しました」それに付け加えて「まっました」です。

以上、次年度よろしくお願ひいたします。

(担当 森本美明)

